

「知識は東アジアの海を渡った—学習院大学コレクションの世界」

2009年学習院大学は開学六十周年を迎えました。その記念事業として学習院大学主催、学校法人学習院其催の特別展覧会を丸善丸の内本店4階ギャラリーおよび学習院大学史料館展示室等にて開催します。学習院大学が所蔵する書籍と資料約90点を二挙公開します。京都学習院や華族会館を經由して明治期の学習院へと入った近衛家・冷泉家や徳川家等旧蔵の漢籍は、そのほとんどが初公開のものばかりです。今回の展覧会では京都学習院以来の学習院史と並行して、その時々々に収蔵された中国・朝鮮半島由来の資料を展示するという斬新な試みがなされます。明治時代、学習院には白鳥庫吉らが在職し、その後の日本の東洋学に大きな影響を与えました。学習院は日本の「東アジア研究」の出発点だったのです。

【主な展示品】【丸善会場】

『性理大全』（二条家旧蔵）／『大唐六典』（近衛家寄贈）／『史記』（明治天皇旧蔵）／『水経注』（高松藩松平家旧蔵）／『白氏文集』（淡江抽斎・伊沢柏軒等旧蔵書）／『箕子八条志』（朝鮮本）

『御製増訂清文鑑』（滿洲語・白鳥庫吉サイン）／『水滸伝』（北魏造像銘石片）（旧制学習院歴史地理標本室旧蔵）／『高句麗広開土王碑拓本』（複製品）／『新羅村落文書』（写真）

『朝鮮総督府関係者録音記録』（友邦文庫）など。

【学習院大学史料館会場】

『唐文粹』（冷泉家旧蔵）／『史記』（慶長古活字版）／『正始文程』（朝鮮本・奎章之宝印）／『教条示範場諸生』（乃木希典自筆）／『朝鮮戸籍大帳』（紺紙銀泥華嚴経断簡（二月堂焼経）

（旧制学習院歴史地理標本室旧蔵、浅野家寄贈）など。

◆関連イベント

◆開学60周年記念特別展覧会 記念講演会

「知識は東アジアの海を渡った—学習院大学の東アジア研究を語る」

日時：2010年1月31日(日) 14:00～16:00

会場：日経セミナールーム（丸善・丸の内本店3階）

講演者：小倉芳彦（元・学習院大学長／学習院大学名誉教授）

濱田耕策（九州大学大学院教授）

挨拶：福井憲彦（学習院大学長）

◆丸善会場ギャラリートーク

【丸善会場】(定員20名)

1月27日(水) 18:30～19:30 講師：桑尾光太郎（学習院アーカイブズ準備室）

「学習院史の世界」

1月28日(木) 18:30～19:30 講師：長佐古美奈子（学習院大学史料館学芸員）

「旧制学習院歴史地理標本室の至宝／目白キャンパスの国登録文化財」

1月29日(金) 18:30～19:30 講師：大澤顯浩（学習院大学外国語教育研究センター教授）

「学習院大学所蔵漢籍について」

1月30日(土) 18:30～19:30 講師：村松弘一（学習院大学東洋文化研究所准教授）

「展示品でみる東アジア海文明の歴史」

1月31日(日) 10:30～11:30 講師：宮田節子（学習院大学東洋文化研究所客員研究員）

「東洋文化研究所所蔵朝鮮総督府録音記録について」

◆ギャラリー展示品解説

解説：村松弘一（学習院大学東洋文化研究所准教授）

1月27日(水)・28日(木)・29日(金)・2月1日(月)

【丸善会場】12:15～12:45 【学習院会場】14:30～15:00

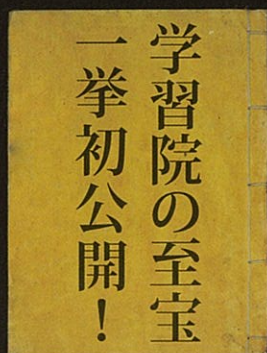
◆「朝鮮総督府関係者録音記録」を聞く

【学習院会場】1月27日(水)・28日(木)・29日(金)15:00～(1時間程度)

◆目白キャンパス文化財めぐりツアー(特別版) & ギャラリー解説

解説：長佐古美奈子／村松弘一

1月30日(土) 11:00 学習院大学史料館展示室集合 - (各自移動) - 14:00 丸善会場集合



◆会場案内

【学習院大学資料館展示室】

10:00～17:00 学習院大学北2号館内

JR「目白」駅徒歩3分／東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅徒歩5分

【丸善・丸の内本店】

9:00～21:00 (初日10時開場 最終日17時閉場)

JR東京駅丸の内北口徒歩1分 丸の内オアソ内

【豊島区雑司が谷地域文化創造館雑司が谷アートギャラリー】

〈2010年1月9日～1月29日〉パネル展示

東京メトロ副都心線雑司が谷駅徒歩0分

◆お問い合わせ先

学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 (学習院大学内 北1号館4階)

TEL: 03-3986-0221 (内線6360) FAX: 03-5992-1021

E-mail: ori-off@gakushuin.ac.jp

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/index.htm>